



# 柿 特報 No.4

R3.6.17

J A 中野市営農センター

J A 中野市柿研究会

## 定期散布を徹底し、高品質な柿を生産しましょう！

R3年度 開花日:6/3頃 満開日:6/6(平岡)

花のついていない枝(カラ枝)、凍霜害により着果にバラつきがありますので様子を見ながら摘果(結果調整)を行ってください。

病害虫の防除は予防を意識し、早めの散布を実施しましょう。

### 病害虫防除

#### ◎6月下旬(6月20日～6月28日頃まで)の薬剤散布

●収穫前や収穫中の作物に飛散しないよう、十分注意する。

散布薬剤	水	100ℓあたり	散布日 6月 日 散布量 ℓ
	展着剤	10ml	
	オーソサイド水和剤 80	100g	収穫7日前、5回以内
	モスピラン顆粒水溶剤 (劇)	25g	収穫前日、3回以内
対象病害虫	落葉病、炭疽病、すす点病 アザミウマ類、カイガラムシ類、カキノヘタムシガ、カメムシ類		
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。		
注意事項	<p>① 前年、落葉病が多発した園地は、今回の防除を必ず実施してください。</p> <p>② モスピランは劇物登録農薬です。購入の際は印鑑をお持ちください。</p> <p>③ オーソサイド水和剤80に代えて、スコア顆粒水和剤 3000倍(前日、3回)でもよい。</p>		

防除の際は必ず栽培日誌に記帳しましょう

裏面もご覧ください。

## 病害虫防除

隣接園(特に収穫期の作物)に飛散しないように注意してください

### ●7月上中旬の散布(7月5日～7月15日頃)

散布薬剤	水	100ℓ	散布日	7月	日
	展着剤	10mℓ	散布量		ℓ
	キノド一颗粒水和剤	100g(収穫14日前まで、5回以内)			
対象病害虫	落葉病、炭疽病、うどんこ病				
散布量	10a当り500ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する				
注意事項	① カイガラムシ類の発生が多い場合は、【劇】スプラサイド水和剤 1500 倍(30 日前、3 回)を加用する。 ※劇物ですので、購入の際は印鑑をお持ちください。 ② すず点病が発生する園地は、キノド一颗粒水和剤に代えて、ベルコート水和剤 1,500 倍(14 日前、3 回)を使用してください。 ③ 昨年、カキノヘタムシガ(ヘタムシ)が発生した園地(収穫前落果の発生園)では、スミチオン水和剤 40(収穫 45 日前、3 回)の 800 倍を加用してください。				

### ◆ 柿 栽培管理講習会の開催について

期 日 : 6月29日(火) 午前11時 高社共選所 集合  
内 容 : 摘果のポイントについて 防除等、栽培管理について

### 農作業中の事故にご注意下さい

- ・ハシゴは、チェーンや紐で止め、開かないようにして使用してください。
- ・ハシゴの一番上の段に乗って作業は行なわないようにしてください。
- ・梅雨期は降雨により地盤が緩みます。傾斜地でのハシゴ・SSの走行等に十分注意しましょう。